

県内の子育て世帯を応援しようと、飲食店やスーパーなどで様々な特典が受けられる優待カードを発行している民間団体「トキッ子くらぶ」(本部・新潟市)が活動を始めて4月で1年となる。会員は70000世帯、特典が受けられるサポート店も500店を超え、会員からは「子どもにやさしいお店が増えた」と好評だ。1歳3か月の男児の父親で、同くらぶ代表の今井進太郎さん(29)は「一人の父親として子育て支援ができないかと考えた。新潟の子育てを盛り上げたい」と話している。

「トキッ子くらぶ」好評

同くらぶは、12歳(小学6年生)以下の子どもがいる県内在住の世帯を対象に、「トキッ子くらぶカード」を無料で発行。サポート店でカードを提示すると、料金の割引やスタンプカードのポイント倍増などの特典が受けられる。対象店舗は飲食店やスーパー、診療所、娯楽施設など幅広い。

今井さんがくらぶ設立を考えたのは、2006年12月の長男誕生がきっかけ。新潟と長岡に事務所を置くコンサルティンク会社「コマスマーケティンク」の社長として企業の販売・営業を支援していたこともあり、つながりがあった企業などに呼び掛け、活動を始めたのは昨年4月。「少子化は企業にとって深刻な問題。行政だけでなく、企業も

子育て世帯に特典 500店超

子育て支援に積極的にかかわるべき」との思いもあった。

スタッフは今井さんや社員ら計約10人。サポート店1店につき1万円の協賛金や広告収入などを活動資金に、優待カードや子育て家族応援マガジン「トキッ子ラウンジ」の発行、インターネットのコミュニティサイト「トキッ子広場」の運営などにあたる。

会員からは「サポート店なら、子どもを安心して連れて行くことができる」と好評で、企業側のイメージアップや集客につながっているという。

直営店約55店で10%の料金割引を行っているクリーニンクチェーン「ニューワタナベ」(本社・新潟市)は「若いマ

「トキッ子くらぶ」のサポート店には、目印のステッカー(左下)が張られている(長岡市のクリーニンク店「ニューワタナベ 長岡ショップ」で)



マをターゲットに新規客の取り込みにつながる」と話す。

回転すしチェーン「栄助寿し」を経営する「創栄」(新発田市)は「家族での外食の主導権を握っている子どもにも支持されるお店でなければいけない」とし、県内の全店舗でスタンプカードのポイントが2倍になるサービスを提供している。

「会員にも企業にもメリットがある、息の長い活動を展開したい」と今井さん。来年度はサポート店をさらに増やし、収支の均衡を図るほか、会員も2万世帯を目指すという。問い合わせは、同くらぶ事務局(0258・25・6805)へ。

1周年「息の長い活動目指す」